

会 議 録

会議の名称	令和5年 第10回 白岡市教育委員会定例会
開催日	令和5年7月13日(木)
開催時間	午前9時30分 開会 ・ 午後12時45分 閉会
開催場所	白岡市役所 4階 特別大会議室
教育長の氏名	横 松 伸 二
出席者(委員等)の氏名	横 松 伸 二 山 崎 美佐江 和 田 玲 子 小野目 如 快 福 永 肇
欠席者(委員)の氏名	
説明員の職・氏名	教育部長 阿 部 千鶴子 教育総務課長 高 垣 秀 樹 参事兼教育指導課長 小 林 大 輔 教育部付副参事 加 藤 靖 生涯学習課長 大久保 秀 樹
事務局職員の職・氏名	教育総務課主査 山田 真規子
点検評価員	吉野 高男
会議次第	1 開会 2 日程第1 会議録署名委員の指名 3 日程第2 委任事務等報告事項 4 日程第3 議事 5 日程第4 その他の事項 6 閉会
配布資料	別添のとおり
傍聴者数	2人

1 開 会

横松教育長 出席委員 5 名、定足数に達しており開会を宣言した。

2 会議録署名委員の指名

横松教育長 市教育委員会会議規則第 15 条の規定により、山崎美佐江委員及び小野目如快委員を指名した。

3 委任事務等報告事項（教育長報告）

横松教育長 報告事項 1 及び 2 は個人情報を含む内容であるため、非公開で行いたいが無いか。また、議案第 27 号は意思決定過程のため、一部を非公開としたいが無いか。

委 員 (異議なし)

横松教育長 異議なしと認め、報告事項 1 及び 2 は非公開で行う。議案第 27 号は、一部を非公開で行う。また、審議の順番を公開案件からとする。

第 3 令和 5 年度白岡市学校給食委員会委員の委嘱について

【説 明】 (報告第 3 について、教育部長が概要説明を行い、教育総務課長が資料に基づき説明した。)

【質疑応答概要】

A 委員 給食委員会の目的は何か。

教育総務課長 白岡市学校給食委員会規則により、任命しているもので、40 名以内で構成している。市内小中学校の校長・教職員代表が 20 名、PTA 会長及び給食部門代表が 20 名となっている。所掌事務は、学校給食に係る学校予算及び決算並びに学校給食の実施計画に関する事、学校給食用物資の確保及び物資納入業者の指名に関する事、学校給食費の決定及び徴収に関する事、その他学校給食の運営に関し必要な事項に関する事に対し、必要な事項を調査し、審議することとしている。

【承 認】 (質疑応答後、全員異議なく承認)

第 4 白岡市いじめ防止対策推進委員会委員の委嘱について

【説 明】 (報告第 4 について、教育部長が概要説明を行い、参事兼教育指導課長が資料に基づき説明した。)

- 【質疑応答概要】 (質疑なし)
【承認】 (全員異議なく承認)

第5 令和5年度白岡市小・中学校児童・生徒体力向上推進委員会委員の委嘱
について

- 【説明】 (報告第5について、教育部長が概要説明を行い、参事兼教育指導課長資料に基づき説明した。)

【質疑応答概要】

A 委員 中学生男子の体の硬さを測定する分野が、埼玉県の下平均以下とのことだが、体力向上推進委員会で原因を分析しているのか。

参事兼教育指導課長 上体起こし、長座体前屈で埼玉県の平均を下回ったのだが、埼玉県のレベルが全国に比べかなり高い。埼玉県は全国で男子は9位で、女子は1位である。白岡市も全国で見ると劣っているとはいえないが、令和4年度の結果については、第1回の体力向上推進委員会において共通理解を図った。そのうえで今後の取組等を話し合い、各校において柔軟性を高める運動を取り入れる等している。

- 【承認】 (質疑応答後、全員異議なく承認)

4 議 事

【上 程】

横松教育長 議案第25号 学区審議会委員の委嘱について、上程し提案理由の説明を求める。

- 【説明】 (議案第25号について、教育部長が概要説明を行い、参事兼教育指導課長が資料に基づき説明した。)

【質疑応答概要】

B 委員 学区審議会は初めて設置するのか。

教育部長 これまでは、学校が新設された時に設置していた。西小学校、白岡中学校、白岡東小学校を新設した時である。

ほかに、区画整理換地完了による学区の見直し時に設置されている。

B 委員 設置の期限はあるか。

教育部長 諮問事項があり、諮問事項の審議が終了するまでの間を予定している。

- 【採 決】 (質疑応答後、全員異議なく決定)

横松教育長 議案第25号 学区審議会委員の委嘱について案件のとおり決定する。

【上 程】

横松教育長 議案第26号 学区審議会への諮問について上程し提案理由の説明を求める。

【説 明】 (議案第26号について、教育部長が概要説明を行い、参事兼教育指導課長が資料に基づき説明した。)

【質疑応答概要】

C 委員 審議するためには、様々な現状を知る必要がある。どういった情報提供を行うのか。

参事兼教育指導課長 地区により児童・生徒数の偏り等があるので、そういったこと等の情報提供をする。

C 委員 毎年、指定校変更が特定の地域で多数発生している。児童生徒数だけではなく、道路状況、交友関係など総合的な判断が必要だと思うがどうか。

教育部長 学区については、行政区単位で指定している。よって行政区との関り、安全面からは道路をどこで区切ったらよいか、また、現在は小学校から中学校に入学するとき友人と別れてしまう学区もある。そのような様々なことを含めて構成員となっている行政区長、PTAの方等から意見をいただき、総合的に考えていきたい。

C 委員 審議会をいろいろな意見を聞く場としていただければ、良い結果につながると思う。

【採 決】 (質疑応答後、全員異議なく決定)

横松教育長 議案第26号 学区審議会への諮問について案件のとおり決定する。

5 その他

その他1 6月の教育委員会諸事業結果報告について

【説 明】 (生涯学習課長が資料に基づき説明した。)

【質疑応答概要】

C 委員 歴史学習支援事業は良い取組だ。学校へ出張して行っているが、学校から依頼があるのか。

生涯学習課長 4月の校長会で各校に照会し、応募があった学校の担当と話し合いながらメニューを決めていく。年間を通して行

っている事業である。

C 委員

土器に触れるなど、子どもにとって貴重な体験ができる。継続して実施していただきたい。

B 委員

他市や大学でも土器に直接触る取組があった。このような機会があるのは良い。

【承認】

(質疑応答後、全員異議なく承認)

4 議 事

【上 程】

横松教育長

議案第27号 令和6年度使用小学校における教科用図書の推薦について上程し、提案理由の説明を求める。

【説明】

(議案第27号について、教育部長が概要説明を行い、参事兼教育指導課長が資料に基づき説明した。)

【質疑応答概要】

(はじめに、各委員の意見・感想を伺った。)

D 委員

全体を通して述べると、各教科書ともテーマがあり、子どもにどういうことを身に着けてほしいか感じ取ることができた。SNSについては、どの教科書も触れている。

国語はロボットの役割が題材になっているのが良かった。文字の書き方についてはどれも丁寧に説明されていた。

算数は、解き方についてとても詳しく書いてあるものもあり、面積、体積の求め方、単位換算もわかりやすいと感じた。

社会は、自分たちの地域の特色を生かして生活する、伝統の継承、地域を思う気持ちを養うことが織り込まれているように感じた。地域を大切に思う気持ちがやがて社会への貢献へとつながるため、大切なことと思う。

生活科は、自分たちが生活していくうえで何が大切かを考えるように作られていた。

英語は、コミュニケーションのツールであり、子どもの伝えたいという意欲が湧くように作られていると感じた。

音楽は、盛沢山という印象だ。昔からの歌、新しい歌、教科書により違いがあった。鑑賞の教材も良く選ばれていると感じた。

図工は、ICTの活用やオンライン美術館といった今ならではの作りだ。また、はさみや、接着剤の使い方まで教えていて良かった。

C 委員

全体的には、学年の発達段階により、作られている。1年生は学校生活がワクワクするような作り、2年生になると1年生の迎え方等が掲載されていて、年齢に応じた行動を促すように、よくできている。

国語は、それぞれのジャンルの合間に「話し合おう」、「人の意見を聞こう」等小さな項目がある。この小さな項目には、昔から継続してある「読解力」等の学びに加えて、これからを生きる子どもたちに必要な力を養うものであると感じた。

国語と書写は同じ会社のもものは連動しており、字を覚え、書くということが関連付けられていた。

生活科は、以前の教科書ではウサギを扱っていたのがモルモットになっていた。モルモットであればゲージ等に入れ持ち帰る等扱いやすいということであろう。

育てる植物も昔はアサガオ等決まっていたが、今は選べるようになっている。

学年が上がるごとに、視点が身近なところから段々と範囲が広がっている。

理科では、近くの公園で捕まえた虫を観察後にもと居たところに戻すとある。小さい時からそういったことを学ぶことは大切だ。

今回の教科書の評価は、子どもの興味が湧くかどうかという視点で行った。写真やイラストが目飛び込んでくるものもあり、これも教科書により個性が表れている。

道徳は、日本人としての共通の常識、善悪の判断のベースとなるもので、どこも完成度が高い。親が読んでも良いと感じた。

A 委員

4年前の選定時と違い、子どもが1人1台の端末を持っているという視点で評価した。このことをどの教科書も意識して作っている。QRコードで読み取ると、理科の実験映像にアクセスができるものもあった。紙とAVの媒体と両方作ることの大変さもあると思う。

ICTの力の入れ具合は、教科書会社により相違があ

る。また、指導書も会社により異なり、充実しているところは、教員の助けとなるだろう。

教科書によっては、漫画が多用されている。あまりにも多いのはどうかと思うが、子どもが親しみやすいという点ではよいのかもしれない。

学校訪問時に子どもの鉛筆の持ち方が気になっていたので、書写の教科書は、その視点を意識して評価した。

道徳は、学年に応じて盛り込んだほうが良い「物語」があるようで各社が掲載しており、その物語を読んだ後、いくつかの考察ポイントにより子どもに考えさせるつくりになっている。しかし、出版社によっては、あまりにも解説が細かく、子どもの自由な意見を引き出せるか疑問だ。

全般的にICTを活用している教科書が多い。

B 委員

教科書にQRコードを掲載する等大きい時代の変化を感じた。どの教科書も、暗記より子どもに考えさせ、身につけさせる方針を感じた。

一つのテーマを成長段階に応じて、視野を段々と広げていくような作りは良かった。

地図などは見やすく大変わかりやすくなっている。

AIの時代を感じる作りだ。

横松教育長

学習指導要領の主体的、対話的、深い学びを、各社がしっかりと意識している。教員の支援がなくても学べる教科書が散見され、面白く感じた。しかし、教員の支援により、学びがより深められる。教員の関りの大切さを痛感した。

(以降は、意思決定過程により、傍聴人退席)

D 委員

ページごとにQRコードを掲載している教科書もある。しかし、読み込んでみると、なかには意味のない画像もある。学校ではどれくらい活用しているのか。

参事兼教育指導課長

子どもが、教科書等を持ち帰り自宅で見ることもある。子どもは動画への関心が高いため、有効活用していると考えられる。

D 委員

QRコードを読み取るとただ静止画が載っているだけ

の場合もある。取捨選択が必要で、QRコードの数の多さに惑わされてはいけない。

また、算数の単位換算の項目のところでは様々な導き方をしている。公式の成り立ちまでの説明も詳細で、結論に行くまでに途中でやめてしまう子もいるのではないかと思う。

音楽は新しいものが多く取り入れられているが、歌詞に深みがあるものが少ないと感じた。

英語のカタカナ表記は実際の発音と違うのではないか。

横松教育長

教員はQRコードだけでなく全体を見て教科書を選定していると思う。昔は、学校で学んだことを家で復習するのが主流であったが、今は予習し、それを学校で復習している。そのため、一人で学べるようQRコードを利用している教科書の作りが多い。

算数の公式の成り立ちをじっくり時間をかけてやるのは、なぜそうなるかを理解することが重要だからだ。最終的には公式を覚えていけばよいのだが。

音楽の歌詞が平易なものとなってしまうがちなのは、愛とか恋とかを避けているからではないか。

英語については、流暢に話すことより、英語に対する抵抗感をなくし、通じればよいという考えになっている。

B 委員

評価方法であるが、1位が1ポイント、2位が0.5ポイントということではどうか。

参事兼教育指導課長

そのとおりである。社会でいうと東京書籍を篠津小から白岡東小までが1位としており、2位を挙げているところとないところがあるため、この評価になっている。

B 委員

国語の光村が5.5ポイントとはどういうことか。

参事兼教育指導課長

例えば、大山小学校が教育出版を1位とし、光村を2位とし、ほかの小学校が光村を1位とすると5.5ポイントとなる。

B 委員

保健以外は、1社が優勢だ。大山小学校の評価は、他校と比較し、大分異なる。小規模校ならではの結果か。

参事兼教育指導課長

大山小学校は教員数が少ないので、平均が取りにくくこのような結果になったと考える。

A 委員

道徳を重点的に見たが、6社のうち学研は一つの物語が長く、道徳としてはどうかと思い除外したのだが、学

校の評価をみると異なる。

【採 決】
横松教育長

(質疑応答後、全員異議なく決定)

議案第27号 令和6年度使用小学校における教科用
図書の推薦について、社会は、第1希望は東京書籍、第
2希望を教育出版、道徳は、第1希望は学研、第2希望
を光村とし、ほかは原案のとおり決定する。

3 委任事務等報告事項（教育長報告）

第1 就学すべき学校の指定の変更について

【説 明】 (報告第1について、教育部長が概要説明を行い、参事兼
教育指導課長が資料に基づき説明した。)

【質疑応答概要】 (質疑なし)

【承 認】 (全員異議なく承認)

第2 令和5年度就学援助の認定について

【説 明】 (報告第2について、教育部長が概要説明を行い、教育総
務課長が資料に基づき説明した。)

【質疑応答概要】 ～非公開案件につき内容省略～

【承 認】 (質疑応答後、全員異議なく承認)

5 閉 会

横松教育長

以上をもって閉会を宣言する。

議事の内容・概要を記載し、その相違なきを証するため、ここに署名する。

令和 年 月 日

教 育 長

議事録署名委員

議事録署名委員